

下水道管更生デモ (奈良)

主催 奈良県土木部下水道課、後援 一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会が下水道の普及から管理への移行に伴い管路更生工法を学び技術の研鑽と工法の理解を図る目的で奈良県土木関係職員、周辺自治体下水道管関係者、農水関係者を対象に更生工法実演研修会が開催され、8工法協会がデモを実施しました。



1. 日 時 平成24年11月20日(火)
13時~16時
2. 場 所 奈良県流域下水道センター内の道路上(大和郡山市)
3. 参加者 74名



当会としては反転・形成工法であるホースライニング工法が曲りがあっても更生ができることを90度ベンドが4か所あるループ配管を使用して反転工法装着のデモを行いました。圧送管、農業用水関係の管路の更生に強みのある当工法を見学者にアピールいたしました。

また、製管工法工法としてバルテム・フローリング工法の部材組付けの実演を馬蹄形模擬配管(2,000mm×2,000mm)を使用して特殊な機材を使うことなく口径800mm以上の管路等へ適応でき、管路等に合わせて強度設計もできること等を説明いたしました。



その他にもバルテムSZ工法のサンプル管の展示やパネルの展示、工法の紹介としてビデオ放映をして、当会3工法の理解を深めていただきました。

見学者からは実演後、当工法への質問が多数あり盛況となりました。また、後日、奈良新聞にもデモ施工の様子が掲載されました。なお、詳しいご説明のご用命は当会へご連絡をお願いいたします。

見学者のみなさん、ありがとうございました。

(バルテム技術協会 関西支部)